

# 広報オススメ本 9月 テーマ「ガラス」



「硝子の塔の殺人」

知念 実希人／著

実業之日本社

重度のミステリーフリークにしてコレクターの神津島太郎。神津島はミステリーの歴史が覆る重大発表をするため、自身の硝子の塔に名探偵、霊能力者、ミステリ作家など個性的なゲストを招く。

しかし、発表前に神津島が殺害され・・・。



「ガラスの城壁」

神永 学／著

文藝春秋

とある事件で父親が逮捕され、“犯罪者の息子”とクラスメイトからのいじめに遭う悠馬。学校での居場所がない悠馬の唯一の理解者である暁斗は、悠馬に「お父さんの事件の真犯人を捕まえられるんじゃないか」と提案し・・・。



「はじめてのガラスペン」

武田 健／著

実務教育出版

素材がガラスであり繊細なため、敬遠されがちなガラスペン。本書では、10年以上ガラスペンを愛用する著者が、ガラスペンの基本の構造や仕組み、使い方を多数の写真と共に紹介しています。